

# Windows および Linux での ACS 5.x バックアップ用 NFS ステージングの設定

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[オプション 1： NFS ステージング デバイスとして Windows サーバを使用](#)

[オプション 2： NFS ステージング デバイスとして Linux サーバを使用](#)

[Cisco ACS での NFS ステージングの設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[エラー 1](#)

[エラー 2](#)

## 概要

このドキュメントでは、Windows Server 2012 または Linux サーバ上で NFS（ネットワークファイルシステム）ステージングを設定する方法、およびバックアッププロセスで使用する ACS（Access Control Server）を設定する方法について説明します。

この機能は、ACS 上で /opt ディレクトリを頻繁に使用する場合に特に便利ですが、ビューデータベースをクリーニングするためのオプションとしては許容されません。

NFS ステージング機能を使用すると、通常はローカルの /opt ディレクトリに作成される ACS のバックアップを、リモートのディスク領域を使用して作成できます。作成されたバックアップは、バックアップコマンドで指定した FTP サーバに保存されます。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Windows サーバまたは Linux サーバ
- Cisco ACS

## 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco ACS 5.5
- Windows Server 2012
- Linux サーバ 2.6.18

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

## 設定

### オプション 1： NFS ステージング デバイスとして Windows サーバを使用

1. Windows の [Start] メニューをクリックし、[Administrative Tools] を選択し、[Server Manager] をクリックします。[Server Manager] ウィンドウが開きます。
2. [Manage] をクリックし、[Add Roles and Features] をクリックします。[Add Roles and Features Wizard] ウィンドウが開きます。
3. [Next] をクリックします。
4. [Installation Type] ページで、[Role-based or feature-based installation] を選択します。[Next] をクリックします。
5. [Server Selection] ページで、設定する Windows サーバを指定します。[Next] をクリックします。
6. [Server Roles] ページで、[File and Storage Services] を選択し、[File and iSCSI Services]、[Server for NFS] の順に選択します。
7. ウィザードの残りの各ページで [Next] をクリックします。その他、追加の変更や選択を行わないでください。変更を確認するようにプロンプト表示されたら、[Yes] をクリックします。
8. ファイル システムに、バックアップ用のフォルダを作成します。フォルダには説明的な名前を指定します。
9. フォルダを右クリックし、[Properties] をクリックします。[Properties] ダイアログ ボックスが開きます。
10. [NFS Sharing] タブをクリックします。
11. [Manage NFS Sharing] ボタンをクリックします。[NFS Advanced Sharing] ダイアログが開きます。
12. 次のオプションが選択されていることを確認します。 Share this folderNo server authentication [Auth\_SYS]Enable unmapped user accessAllow unmapped user Unix access (by UID/GID)
13. [Permissions] ボタンをクリックします。[Permissions] ダイアログが開きます。
14. すべてのマシンが読み書きアクセスできるようにフォルダのアクセス許可を設定します。ルートへのアクセスは許可しないでください。

15. [OK] をクリックし、開いているそれぞれのダイアログ ウィンドウを閉じます。

## オプション 2： NFS ステージング デバイスとして Linux サーバを使用

1. ping コマンドを使用して Linux サーバへの接続を確認します。
2. NFS 用にバックアップ ステージングの URL を設定します。
3. 次のコマンドを入力し、リポジトリを使用できることを確認します。

```
acs# sh repository NFS-TEST
ade # mount -t nfs <backup folder on Linux server> <folder on ACS>
```

注: Linux サーバ上のバックアップフォルダは、「209.165.200.225:/app/backup」のように、ドメイン名または IP アドレスにフォルダパスが続く形式にする必要があります。ACS のフォルダは、「/tmp/TEST/」のように、フォルダパスの形式にする必要があります。

## Cisco ACS での NFS ステージングの設定

次のように、コマンドプロンプトで設定コマンドを入力します。

```
ACS56-1/admin#
ACS56-1/admin# conf t

{Enter configuration commands, one per line. End with CTRL+Z.}

ACS56-1/admin(config)# <backup-staging-url> nfs://209.165.200.225:/NFS_share
```

注: IP アドレスの代わりに NFS サーバのドメイン名を使用できます。アドレスと NFS 共有名の間には、「:/」シーケンスがあることに注意してください。

## 確認

このセクションでは、設定が正常に機能していることを確認します。

注: Linux サーバまたは Windows サーバのいずれかに NFS ステージングを設定するには、ACS ( シェル モード ) で同じコマンドが使用されます。

1. コマンドラインから、次のバックアップ コマンドを実行します。

```
ACS56-1/admin# backup testbackup repository ftp application acs
% Creating backup with timestamped filename: testbackup-150209-2004.tar.gpg 次のログが生成
されます。Feb  9 20:22:22 piborowi-ACS56-1 ADE-SERVICE[4681]: [18126]:[info]
config:backup: br_stage.c[160] [admin]: set staging url to nfs://209.165.200.225:/NFS_share
```

2. 作成した NFS 共有フォルダにバックアップ サブフォルダが存在することを確認してください。

作成時の NFS ステージングの使用の有無にかかわらず、バックアップの ADE.log デバッグに違いはありません。NFS は、バックアップ プロセスの期間中だけマウントされます。

ファイルシステムが正常にマウントされたことを確認するには、次のコマンドを使用します。

```
ade # df -hFilesystem                Size  Used Avail Use% Mounted on
/dev/mapper/smosvg-rootvol
4.2G 364M 3.7G 9% /
/dev/sda2 965M 18M 898M 2% /storedconfig
/dev/mapper/smosvg-storedatavol
3.9G 1.3G 2.5G 34% /storeddata
/dev/mapper/smosvg-usrvol
4.2G 1.1G 3.0G 26% /usr
/dev/mapper/smosvg-tmpvol
4.2G 143M 3.9G 4% /tmp
/dev/mapper/smosvg-home
961M 18M 894M 2% /home
/dev/mapper/smosvg-optvol
55G 2.7G 50G 6% /opt
/dev/mapper/smosvg-localdiskvol
11G 156M 11G 2% /localdisk
/dev/mapper/smosvg-altrootvol
961M 18M 895M 2% /altroot
/dev/mapper/smosvg-varvol
5.3G 223M 4.8G 5% /var
/dev/mapper/smosvg-recvol
961M 18M 895M 2% /recovery
/dev/sda1 92M 52M 35M 61% /boot
tmpfs 2.0G 0 2.0G 0% /dev/shm
10.48.17.34:/NFS_share
400G 25G 376G 7% /opt/backup
ade # nfsstat -m
/opt/backup from 209.165.200.225:/NFS_share
Flags:
rw,vers=3,rsiz=32768,wsiz=32768,hard,proto=tcp,timeo=600,retrans=2,sec=sys,addr=209.165.201.1
```

## トラブルシューティング

このセクションでは、設定のトラブルシューティングに役立つ情報を提供します。

### エラー 1

```
acs# sh repository NFS-TEST
% Error mounting NFS location
```

**解決策：** NFC と ACS との間に適切なルーティング/ネットワーク接続があることを確認してください。Linux コンピュータに対して ping すると同時に、Linux コンピュータ上で作成したディレクトリに適切な権限が割り当てられているか確認してください。

### エラー 2

```
ade # mount -t nfs 209.165.200.225:/app/backup /tmp/TEST
mount: 209.165.200.225:/app/backup failed, reason given by server: unknown nfs status return
value: -1
```

**解決策：** Linux サーバ上で次のコマンドを入力します。

```
vi /etc/hosts and <ip address of ACS> <hostname>
```